

日立製作所が鮫川に
自家發電所を建設

出力は四千五百キ

不作所ではかねてより自家小松崎吾郎 第一營業所
電設を計畫していた上任) 箱崎富義 (資材課
が、この程山人村貞泊の主任) 斎藤忠春 (第一營
に於いて開催するが、そ

江尻田川取入口より十二キロ 業所運轉子 柴田正一の予選を来る二十五日と、次に於いて行うる。新規昇り次の地区に於いて行うる。江尻房子二十五日：澤渡中学校

（營業課）鶴沼泰代（車掌）熊谷富子（車掌）
二十六日：四倉中學校
三十七日：小川中學校
なお決勝には各予選を通過して近く工事に着手

、ことになつた
電所は四千五百キロ
ウト出力をもつもので
の辯論大会

「サンマ廿八圓
矣貞工事を敢行して二十
八年の十月までに竣工さ
せる予定であり、電源の

開発を大きく叫ばれていたとき各方面より期待されてゐるところである。小名瀬港に於けるサムーラー船大群がみられた時は、

優良從業員の水揚も旗揚が本縣沖に移つたため入港船も多く十八日は六万貫十九日東の大數にも入るといふ鹽漁のため東京・大阪方面の市場を始め各地と

常磐交通 三万貫と運日に亘つて水にサンマの大洪水であつて
揚されており浜値もいよいよ三十円を割つて二十
常磐交通株式会社では十

七日午後一時より平市本
社会議室に於いて優良從
業員の表彰式を行い次の
八円に暴落する有様で船
主は悲鳴をあげてゐる、
現在サンマは金華山沖に
港外で遭難
十八日午後六時頃茨城縣
八日午後一時より平市本
社会議室に於いて優良從
業員の表彰式を行い次の
八円に暴落する有様で船
主は悲鳴をあげてゐる、
現在サンマは金華山沖に

う」といつた綺麗な紅葉をする樹種もない北千島ですが、汚い古びた感じでござります。

空襲体験記
今田正美

今年は珍らしく好い日和
が續いた。年がたつ、始んど
さきに会わざく済んだ
揚げ準備にかゝつてから
も二ヶ月を過ぎて、
五月の初めにやつて来て
になつた。枯草の色にて
つでは赤と黄を使つて、
く子供の稚拙なクレヨン

十一月の初めに歸るとな
れば六ヶ月の漁場生活。
船の自由となる時の懲點
に寂寥なる景觀である。
九月末低い占守の丘で、
雪見見るようなもので、
喜んでいる。それにしても
十月に入り羽賀半船を

得つて首を長くしてゐるの短い漁場生活に比べて、えて遠望される西カムシヤッカの山は白霞々と霞めらわ清新な眞つ白いも

のである。着島してから日毎に山の色が變つて行くのが日立つ全山紅葉と云いたいところだが、「も頃は新艦見ゆの感狀に

とと二ヶ月、荷造りを切
みじ」「うるし」「ふど
いたつたのたつたが今

久慈港所屬サン・船大三
丸(一)、三トン二船
長三代明氏ほか三名乗組
は強風のため四ヶ倉港
に避難の途中全港防波堤
外の暗礁に乗り上げ舵を
破損したが全港より救助
に向つた漁船に曳航され
四倉港に入港した

リゾーブに便乗して浜通り一帯に宣傳を行つたが、海のGメンの制服で遠山部長は海上犯罪の實態や最近に於ける犯罪の傾向	普天間は午前六時より一月堂加賀前橋にて、リベスに空氣銃を握った際、右側の暗がたものがあり窓硝子が破損したが幸い乗無事であった。
イクを通してユーモアたっぷりに一般に知らせ多く、大の効果をおさめた。	第五海賊丸遭難者の弔慰金募集中も目標の六万円に對し七八日一日にて
ト ラ ツ ク 店 に 突 入 む	赤井村神山炭礦のトランク車伊勢谷昭一は十七日午後八

有利な利殖